

2008年8月18日

下川自然を考える会会長 ████████ 様  
サンルダム建設を考える集い代表 ████████ 様

旭川開発建設部

サンルダム建設事業所長 宮藤 秀之

「サンル川実験用魚道の休止を求める」要望書について

本年7月29日付けで頂きました「サンル川実験用魚道の休止を求める」要望書につきましては、以下のとおりです。

なお、いただきましたご要望については、今後開催する「天塩川魚類環境保全に関する専門家会議」における検討の参考とさせていただきますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

1. について

当事業所が実施した6月19～20日の調査以降、貴団体の要望を踏まえ、7月29日に合同調査、続いて8月11日は当事業所単独の調査を実施したところです。今後とも、調査日時・方法等については事前にお知らせしたいと考えております。

2. について

今回採捕したカワシンジュガイの放流箇所については、専門家の意見等を踏まえ設定しています。なお、放流後のモニタリング調査により生息状況を確認します。

3. について

今後実施する移植を目的としたカワシンジュガイ調査については、引き続き専門家の意見をきき検討してまいります。なお、今後の調査日時・方法等については事前にお知らせしたいと考えております。

4. について

調査用魚道による調査は、「天塩川魚類生息環境保全に関する専門家会議」の議論を踏まえたものですが、遡上調査において、支障が生じた場合には、遡上阻害が生じないよう現況河川を遡上させることができる体制を確保しつつ実施します。

5. について

放流後のモニタリング調査により生息状況を確認するとともに、必要に応じ保全対策を実施します。